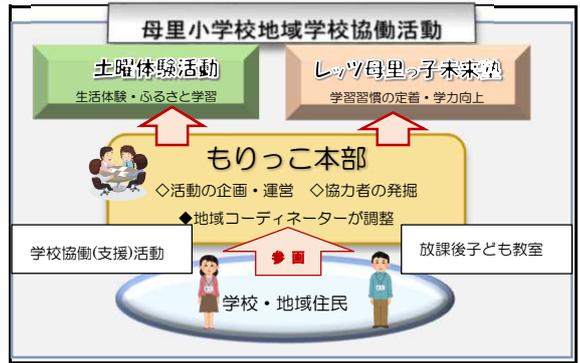


人と人をつなぐ「母の里」から未来へつなぐ「もりっこ本部」 ～レッツ母里っ子未来塾と土曜体験活動～

兵庫県稲美町		●活動名 母里小学校地域学校協働本部(もりっこ本部)		●関係する学校名 稲美町立母里小学校	
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 令和3年4月設置予定	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—		
	地域未来塾	放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	2人	1人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無
	39人				
参考URL	https://www.town.hvogo-inami.lg.jp/000004487.html				
●連絡先	稲美町教育委員会生涯学習課		☎ 079-492-2340		



●活動の概要・経緯
稲美町では地域で子どもたちの健やかな成長を支援する地域学校協働活動「いなみ いきいき共有ネット事業」を、平成29年度に開始した。小学校区単位で地域学校協働本部を立ち上げ、「地域の子どもと大人が共に育つ」「人と人のつながりネットワークをひろげる」をスローガンに活動を展開している。母里小学校地域学校協働本部(もりっこ本部)は、地域学校協働活動の主旨に賛同した地域住民有志と学校代表(教員)による、自主的・主体的な活動を実施している。学力補充と学習習慣の定着をめざす「レッツ母里っ子未来塾」と、生活体験不足を補ったり、ふるさとの特色を学んだりする「土曜体験活動」を二本柱としている。活動の企画・運営にあたっては、地域住民や児童の視点を大切に、未来を担う母里っ子の育成と地域人材のつながりづくりを力を入れている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①わかる楽しさ、支援する充実感『レッツ母里っ子未来塾』…地域住民と教員の連携協働による、小学生対象の学習支援。
 - ②ふるさとから学び、人から学び、ものから学ぶ『土曜体験活動』…「地域の特色を理解する」「文化・伝統を次世代に伝える」「生活体験を豊かにする」といった地域の課題解決に取り組む土曜体験活動。
- 「水路探検～印南の道～」は、地域住民がボランティア講師となり、命がけで水路を築き水田地帯を広げていった先人の苦労や地域の歩みを伝えたり、地元自治会が水路沿いの草刈をして安全に配慮したり、趣旨に賛同した住職が水路探検後のイベントの場としてお寺を開放したりするなど、地域の協力を得た体験活動。

【実施に当たっての工夫】

- ・地域住民が「支援する充実感」を得られることも大切に運営により、地域住民の積極的な参画を促している。
- ・人と人のつながりを活かして、学習支援員やボランティア講師などの協力者を発掘している。
- ・地域の特色や歴史について、クイズやゲームなどで大人も共に楽しみながら学べるよう、工夫を凝らした活動を企画している。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校協働(支援)活動…JA兵庫南の協力による小学校の花壇整備。
 ・地元のJA組合員の指導のもと、児童は完成した花壇に共に花の苗を植え、花が咲くのを楽しみに世話をした。
 土曜体験活動…「饅頭づくり&茶道体験」
 ・地元の「印南そば倶楽部」や「稲美町茶道協会」の協力のもと、文化体験活動を行った。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・地域未来塾実施後のアンケートでは、子ども、保護者とも「満足度」はほぼ100%であり、教員とチームで支援を行った学習支援員(地域住民)が、「支援の効果を感じている」と回答した割合も約90%と高い評価を得た。
 ・「地域の特色を理解する」「文化・伝統を次世代に伝える」「生活体験を豊かにする」といった地域の課題解決に取り組む土曜体験活動では、「知らないことばかりだったので楽しく学べた」「また参加したい」「地域への愛着が増した」という感想が寄せられている。また、もりっこ本部委員からも「こんなことをやってみたい」という意欲的な提案がみられるようになった。生活体験を豊かにしたり、地域のことを学んだりする活動を通して、子どもと大人の出会ひも含め、地域の未来につながる新たな人と人のネットワークが広がっている。

●その他

- ・『レッツ母里っ子未来塾』:長期休業中に実施。学力補充、学習習慣の定着、学ぶ意欲を高めることが目標。
- ・『土曜体験活動』:地域を学び、地域で体験し、スタッフも参加者も満足するプログラムを計画実施。



支援するもりの里っ子の自主的な学びを支



土曜体験活動「水路探検」